

# 『高血圧は全身病』

参加費 **無料**  
対象 一般社会人

令和3年  
10月10日(日)  
13:30~16:00

※Zoomウェビナー  
による**オンライン**  
での開催



申込方法

医学部ホームページよりお申し込みください

以下URLの「お申し込みはこちら」をクリックし、必要事項(氏名・メールアドレス)を入力してください。

<https://www.med.gifu-u.ac.jp/visitors/shimin/>

参加方法は前日までに登録いただいたメールアドレスにご案内します。

**申込期間 : 9月18日(土)から10月4日(月)**

【主催・企画】  
岐阜大学大学院医学系研究科

【後援】  
岐阜県・岐阜県教育委員会  
岐阜市・岐阜市教育委員会

申込み  
・  
問合せ

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係  
【TEL】058(230)6054(直通)  
〈電話受付時間〉9:00~16:00(土・日・祝日・8/13~16を除く)  
【Eメール】[igakubu-03smn@gifu-u.ac.jp](mailto:igakubu-03smn@gifu-u.ac.jp)

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、2年ぶりの開催となる岐阜大学医学市民公開講座の今年のテーマは「高血圧は全身病」といたしました。高血圧は血管への影響により、全身の様々な臓器障害をもたらします。代表的なものが脳血管障害、心臓病、腎臓病、その他の血管疾患です。最近の話題としては、新型コロナウイルス感染症も高血圧患者さんでは重症化しやすいことが明らかになりました。今回の市民医学講座では、2019年に改訂された「高血圧診療ガイドライン2019」をひも解きながら、「高血圧診療の現状」について、そして全身病の中で特に、「高血圧と心臓病」、そして、「高血圧と腎臓病」のかかわりについて皆さんに知っていただく予定です。

日本における高血圧患者数は約4,300万人と推定されており、まさに国民病であるといえます。高血圧という病気の恐ろしいところは、多くの患者さんが無症状であるため、そもそも自分が高血圧であることに気づいておられない、あるいは高血圧であることは知っているけれどきちんと管理をしておられない方が多く、実に3,100万人が管理不十分であるといわれています。高血圧治療の基本は食習慣をはじめとする生活習慣の改善です。しかし、これらだけでは、血圧を適切にお管理することは難しく、薬物治療も必要です。この機会に、知っているようで知らなかった高血圧について学んでいただきたいと思います。

## <講師・講義内容>

○13:30～ 開講

○13:35～14:15

### 【高血圧診療の現状】

医学系研究科  
循環器内科学分野  
教授 **大倉 宏之**  
(おおくら ひろゆき)



2019年、日本高血圧学会から「高血圧治療ガイドライン2019」が刊行されました。本ガイドラインは、主に私たち医療従事者向けに作成されたもので、大変膨大な内容からなります。私たちが高血圧患者さんを診療するにあたってどのようなことを考えているのか？患者さんやご家族に知っておいていただきたいことは何なのか？同じ、高血圧という病名でありながら患者さんによって治療内容や目標血圧が異なるのはなぜなのか？今回の市民公開講座のテーマでもある、全身病としての高血圧とは一体どういうことなのか？さらには、新型コロナウイルス感染症と高血圧の関連は？そういった、皆さんがお持ちの様々な疑問に対してお答えし、全身病のうち特に重要な心臓病と腎臓病との関連についての話へとつなげていきたいと思えます。

○14:15～14:55

### 【高血圧と心臓病】

医学部附属病院  
第2内科  
准教授 **金森 寛充**  
(かなもり ひろみつ)



心臓は高血圧の重要な標的臓器です。高血圧は自覚症状がありませんが、心臓病の原因となりある日突然に発症し重篤な事態になることから“サイレントキラー”と呼ばれています。高血圧はどのようにして心臓病を引き起こすのでしょうか。高血圧は動脈硬化を促進し心肥大、不整脈を引き起こします。これらの結果、狭心症、心筋梗塞、心不全、突然死に至ります。特に近年では心不全が著しく増加し“心不全パンデミック”が叫ばれています。心不全の中でも左室駆出率が保たれたタイプ(心筋の収縮は良いが拡張が良くない)が増加し高血圧の関与が注目されています。これらの心疾患の発症や死亡を減少させるためには血圧を長期的に管理することが重要です。本講演では高血圧が引き起こす心臓病の基礎知識、最新情報、治療の考え方を分かりやすく解説します。

○14:55～15:10 休憩

○15:10～15:50

## 【高血圧と腎臓病】

医学系研究科

腎臓内科学分野

臨床講師 吉田 学郎

(よしだ がくろう)



慢性腎臓病(CKD)とは腎臓の働きが健康な人の60%以下になる、あるいは尿にたんぱくが出るなどの異常が3ヶ月以上続いた状態をいいます。CKDは透析治療が必要となる末期腎不全だけではなく脳心血管病の危険因子でもあり、日本国内では既に成人の8人に1人がCKDであるといわれています。CKDの発症は糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病や加齢と深い関係があり、特に高血圧はCKDに強く関与するといわれています。

腎臓は体の中にたまった老廃物や余分な塩分、水分を体の外へと出して血圧を安定させる臓器です。しかし血圧が上がると徐々に腎臓の働きが悪くなり、余分な塩分、水分が体内にたまり血圧は更に上昇するため高血圧と腎臓病は悪循環の関係に陥ってしまいます。今回の講演ではこの悪循環を断ち切り腎臓を守る秘訣についてお話したいと思います。早期にCKDを発見し、また高血圧を含めた生活習慣病を予防・治療して御自身や御家族の腎臓を守りましょう。

○15:50 閉講